

 地域・家庭・学校を結ぶ学校だより 高台 https://www.ota-school.ed.jp/magomehigashi-js	 Member of United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization UNESCO Associated Schools	令和7年5月1日 令和7年度第2号 大田区立馬込東中学校
---	--	---

「分ける」ことで理解しよう！

一生徒のみなさんへー

校長 松井 圭一

4月も下旬に入り、東京では最高気温が25℃を超える日も出てきました。校長室の窓からは鮮やかな濃桃色をした躑躅の花が開き、梅の木には実が鈴なりになっているのがはっきりと見えています。

新緑目映い晩春の季節。あらゆるものが輝いて見える季節です。

入学式からだいぶ経つというのに校長室のドアを開けると、ユリの甘い香りが未だに漂ってきます。

このユリの花は、入学式のステージ上に飾られていたものを華道部顧問の白井先生が別の花瓶に移し替えて校長室においてくださったものです。

4月8日、入学式のステージ上で満開を迎えたユリもありましたが、数本はまだ蕾（つぼみ）のままでした。その蕾だったユリが4月下旬に咲き始めたのです。

入学式の時に満開だったユリに比べると、半月以上も成長に差があります。でも、花びらを誇らしげに広げ立派に咲きました。

私は植物学者ではないし、花の専門家でもないので切り花にされた蕾が、花開かせるためにどのような努力をしているのかはわかりませんが、切り口から水を吸い上げて枯れることなく、これまで生き続けてきたのは確かなようです。

そんなふうに考えると、半月遅れで咲いたユリが健気で、心の中で応援し続けていました。

さて、始業式・入学式から3週間が経ちました。

3年生と2年生は新たな学年を始めるにあたって、1年生は中学校での生活のスタートに向けて、こんなところを頑張ろうと考えた思いは今も変わりませんか。自分なりに頑張れていますか。

みなさんは、＜継続は力なり＞という格言を何度か聞いたことがあるでしょう。言葉とするのは簡単ですが、とても難しいことだと思います。

＜宿題が多い＞＜部活で疲れた＞＜どうしても観たいスポーツ中継がある＞＜友だちと遊びに行く＞＜寝不足で集中できない＞＜食べ過ぎで苦しい＞等々、継続を遮る要素はたくさんあります。

ルーティンとして毎日の生活の一部になるまでには余りにも誘惑が多すぎます。

何かを続けるためには、頑張った成果が実感できることが大切なことです。

たとえば、焦げ付いた鍋の焦げた部分を落とそうとして、束子（タワシ）でこすり続けて5分を経過しても全く焦げが落ちなかったらどうでしょう。これ以上続けても無駄かもしれないという思いが募り、意欲が失せてしまうはずです。反対に5分経過した時点で、半分ほど落ちてきたら、よしがんばろうと意欲が増すはずです。勉強だって、スポーツだって、習い事だって、頑張ったことがはっきりと自覚できれば頑張りがいがあるものです。

成果を実感するためには、スモールステップでの復習が効果的です。

学校で学んだ内容を自分のものとして定着させるためには家庭での復習が必要不可欠です。それも問題集や簡単なドリルで定着度を確認してみましょう。もちろん問題を解く前に教科書で十分に復習しておけば正解率も上がります。正解率が上がれば（成果が実感できれば）、おもしろみも湧いてきます。

慌てる必要は全くありません。自分のペースで少しずつ取り組んでいけばよいのです。

日々の頑張りを怠って、たくさんの内容をため込んでしまつては、分かる内容も分からなくなってしまう。

「分かる」ためには、1日に頑張れる量に「分ける」ことが大切です。

★入学式：99名が新たに馬込東中の仲間になりました。



4月8日（火）に入学式が行われました。桜が満開に咲いている中、真新しい制服に身を包み、少し緊張した表情で登校した新入生たちも、呼名の際には元気いっぱいの返事をすることができました。その姿はとて立派で、中学生として素晴らしい一歩を踏み出しました。

私たち教職員一同、生徒の可能性を最大限に伸ばせるように、ときに優しく、ときに厳しく、そして温かくサポートしてまいります。

★新入生オリエンテーション

新入生に向けて部活動のオリエンテーションが4月9日（水）に行われました。各部活、一生懸命に考えたことを発表しました。

必死に部活のPRをしている背中（姿）はとても立派でした。

新入生もしっかりとした態度で真剣に先輩の話を聞くことができていました。



★令和7年度前期生徒会任命式

4月21日（月）の生徒会朝礼で、前期生徒会役員、各専門委員会委員長の任命式が行われました。

生徒総会に向けて議案書を作成して、新しいことに各委員会、生徒会がチャレンジしてほしいと思います。そして、リーダーを支えるために一人一人が何か協力できることはないかと考え、行動していくことが大切になります。学校全体で活動を支え、より良い学校生活をみんなで築いてほしいと思います。

☆五月病にならないように、体調管理に努めましょう

新学期が始まって1ヶ月、自分では気がついていない疲れもあると思います。連休中、部活動に参加する生徒もいると思いますが、家族との時間を大切にしながら、五月病にならないように体調を整えるようにしましょう。また、だんだんと暖かくなってきます。暑さに慣れていないと熱中症にもなりやすくなります。多めに水筒を準備し、水分補給をしっかりとしましょう。

★一流の人に

「言われてから動く人は二流。言われる前に動ける人は一流。」これは、社会の中でもよく語られる言葉です。自ら考え、行動することは決して簡単なことではありませんが、日々の学校生活の中でも、少しずつその力を育んでいけたらと考えています。ご家庭でも「自分でできることはないかな。」と、問いかけてあげてください。そのような日々の問いかけによって、生徒たちの意識も自然と高まってくると思います。

保護者の皆さまには、これからもご理解とご協力をいただきながら、共に生徒の成長を喜び合える関係を築いていきたいと願っております。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。